

國民年鑑



は し が き

新聞紙は吾人が日々の圖書館なりとは、彼ローズベリ卿の言であるが、茲に始めて生れ出でた我が國民年鑑は、この日々の圖書館たる新聞紙の精を抜き粹を集め、以て一卷の小冊子とした物である。

年鑑の効用 年鑑即ち西洋の所謂アルマナックは、實に現代の活社會に生存しつゝある讀者諸君の爲めに、案内者ともなり、相談役ともなり、教師ともなり、また友人の役をも勤める。英國人がデリーメールのイアブックに依頼し、米國人がウォールドのアルマナックに負ふ所の大なるは今更説明する迄も無い。我が國民新聞が率先してこの新しき試みたる年鑑の發行を實行するに至つたのも、畢竟歐米諸國の進歩せる實例に學んだものである。

皇室と年鑑 我が日本國民の中心は云ふまでもなく我が萬世一系の皇室に御坐す。國民年鑑は於是乎先づ大正改元後我が 皇室に關して起つた諸般の事實を網羅するに勗めた。殊に大正三年度に於て、我が皇室の否我帝國の最大事件たるべき御即位式に關しては、充分の注意を拂つて其委細を掲げ、以て讀者諸君が御即位式を迎ふるに際しての、最も權威ある案内者たらしめんことを期した。

政治記事の特色 過去一年間に於て、日本國民の神經を最も悩まさしめたものは、最近政治界の變動である。國民年鑑には極めて公平なる見地に立てる者の概括的評論を以て、これを簡明に叙述し、加ふるに國民新聞紙上に連載して、好評を博したる杉中種吉氏の『眼中の人』を訂正増補し、現代政界の人物と題して掲載する事にした。

支那問題 巴爾幹の戰爭と支那の革命とは、最近世界を震撼せしめた二大事變である。國民年鑑は此二

者の一般形勢を記録せんが爲めに特に専門家の筆を勞した。

排日問題の詳述 米國加州に起れる排日問題及日本移民の世界に於ける發展は、吾人が看過すべからざる重大問題である、此點に關しても國民年鑑は十分に遺憾なきを期せんが爲めに、信賴すべき事實を根據として、或は統計に、或は記事に、出來得べきだけの詳細を盡した。

財政經濟の案内者 帝國財政の重大事件たる制度整理問題には、特に詳細なる記事を以てした。其他帝國の産業貿易交通運輸等の方面に關しては、信賴すべき統計によつて發展膨脹の大勢を示し、諸般事業會社の合併變動の重なるものは、一々これを列記し、又金融株式界に於ては、詳密にして且信據ある統計表と、斯界のオースワチーの鋭敏なる觀察を記載して、讀者の案内者たらしめた。

文藝界の指針 文藝界の記事に於ては金子筑水氏の評論を以て錦上添花を添えしめ、劇界の新機運については島村抱月氏の筆を煩はし、又た美術界の最近狀態を詳しく記載したる外に、岩村透、中川忠順二氏に夫れく専門的批評を請うてこれを掲げた。

學生諸君の同伴 運動競技及諸種の娛樂に關しては特に多くの頁を割いて、學生諸君及一般讀者諸君が趣味の友たらしめた。

現代人物一覽 は今日社會に活動せる人物の重なるもの數百名を網羅し、略傳、住所及電話番號まで記載して讀者諸君の便に供し、別に歐米及支那に於ける最も知名の士百餘名の略傳を記し、讀者諸君が日々紙上に現はるゝ外國電報を讀むに當つての參考たらしめた。

御願と御詫 最後に注意し置くべきは、國民年鑑に於ける諸般の評論が、必ずしも國民新聞の主義方針で無いと云ふ事である。而して編輯者としては此國民年鑑が、日本に於ける新しき試みたる事と、編輯

の期間が極めて短日月なりし事と、及び編輯者其ものが不敏不才の爲め、意外の粗漏不體裁が各所に存
在すべきを、更めて讀者諸君に告げ、諸君の寛恕と同情とに訴へて、明年の大成を期したい。よつて此
年鑑の記事中若し錯誤せる點あり、又編輯上特に注意すべき所を氣附かれたる諸君は、遠慮なく東京市
京橋區日吉町國民新聞年鑑編輯部宛にて御通知あらむ事を希望する、尙ほ編輯者は最新の事實を網羅せ
んとの考から、印刷中の出來事の内重なるものは、之を卷末に『印刷中の重要なる出來事』なる欄を特
設して置いたから、必ず此欄を見落さぬ様に特に御注意をして置く。

索引

一、本書の索引は讀者索出の便を計り可成細目を掲ぐるに力めたり
 二、細目に更に之を大綱目の下に取纏めたる一の細目にして數個の綱目に關係するものありそれ等は總て關係ある綱目毎に重複掲出せり
 三、細目は總て之をイロハに配列したれば輕重前後し疎密分合せるものあるは之を諒せられたし
 四、印刷中に起りたる重要の出來事は其目次を本索引の末尾に附したれば讀者は索引使用の際之をも併せ參看せられたし

皇室

立太子禮

離宮

恩赦

改元

大嘗會

高松宮御稱號宣下

即位式

即位式大禮使官制

即位式大禮式舉行期日公示

即位式大禮使職員

即位式大禮準備委員會規則公布

皇太后陛下

皇太后陛下御避寒

二二	皇太后陛下桃山御陵御參拜	一三、	一五	皇城豐明殿	二五
二二	皇太子殿下	一	一	皇城東安府	二五
二五	皇太子殿下御任官	一三	一三	皇城賢所	二四
一三	皇太子殿下新御殿入御	一四	一四	皇城奥御殿	二五
一三	皇太子殿下桃山御陵御參拜	一四	一四	皇城表御殿	二五
一三	皇族議員	七六	七六	皇城懷遠府落成	二四
一九	皇后陛下	一	一	皇城皇靈殿	二四
一四	皇后陛下葉山行啓	一四	一四	皇城吹上御苑	二五
一六	皇后陛下日光御避暑	一五	一五	皇城沿革	二四
二二	皇后陛下桃山御陵御參拜	一三、	一五	皇城面積	二四
一六	皇妹	二	二	皇城諸門	二四
二三	皇子	一	一	皇城正殿	二五
一四	皇子淳宮殿下肺炎御患	一四	一四	皇城神嘉殿	二五
一	皇子桃山御陵御參拜	一四	一四	皇城神殿	二四
一四	皇城	二四	二四	皇室典範	二八

皇室典範增補	三〇
皇親御親代奉還	一五
宮内官	七一
宮内官異動	一五
御用邸	二五
御陵武將像	四九六
御料牧場	二六
御料地	二六
御獵場	二六
御歴代	六
御歴代皇居	六
御歴代元號	六
御歴代御陵	六
御歴代天皇	六七
帝國憲法	四八五
帝室技藝員	四九六
帝室技藝員の大作	一三
朝見式	五
朝鮮王族及公族	一四
天皇節祭祝日御治定	一五
天皇節祝日(大正第一)	一
天皇陛下	一四
天皇陛下肺炎御患	一四
天皇陛下葉山行幸	一五
天皇陛下日光御避暑	一五
天皇陛下陸軍大演習臨幸	一五
天皇陛下觀艦式臨幸	一五

天皇陛下御不例	一四
天皇陛下御服制	一七二
天皇陛下帝國議會開院式臨幸	一三
天皇陛下救恤金御下賜	一五
天皇陛下宮城遷御	一四
天皇陛下比叡進水式臨幸	一三
天皇陛下桃山御陵御參拜	一五
有栖川宮殿下薨去	一四
青山御所御板戸揮毫	四九七
三位の局	一五
宮中御儀式	六六八
宮中席次	二七
明治天皇(崩御)	一〇四
明治天皇御大葬儀	一三
明治天皇御大葬儀繪卷物	四九六
明治天皇御一周年祭	一五
詔勅及勅語	四五六
戊申詔書	一七一
陸海軍に賜はれる勅語	一
大統繼承の勅語	一三
皇族元老大臣に優詔	一七二
軍人訓誡の勅諭	四五六
教育勅語	七〇
五箇條の御誓文	一三
露禱式	三一
世界の主なる主權者	
各國國祭日	
土地	

位置(日本)	四六
北海道拓殖十五箇年計畫	三四一
東洋拓殖會社經營地面積	三五〇
豆滿江の森林面積	三五四
著名の森林	二四三
地球の面積	四六
地球の容積	四六
地球の重量	四六
治水事業	四〇
林野面積(國有)	二四二
林野面積(御料)	二四二
林野面積(公私社寺有)	二四二
林野面積(朝鮮)	三五二
領土(日本)	三三
領土(列國)	三四
樺太の殖民地撰定調査別	三九九
河川(日本)	三八
河川(世界)	四二
河川掃除(東京市)	四二四
臺灣の耕地	三七一
經緯度(臺灣)	三六五
經緯度(朝鮮)	三六五
經緯度(關東州及滿洲)	三七七
原野(日本)	三四
原野と産業	三六
湖沼(日本)	四三
湖沼(世界)	四四

朝鮮側鴨綠江流域森林
朝鮮の土地調査

山岳(日本)

山岳(世界)

民有々租地反別地價

民有免租地反別

面積(朝鮮)

面積(關東州)

面積(滿洲)

面積(世界の陸地と水面)

面積及周圍(臺灣)

重要地時間の差

氣象

初雪及終雪時期(日本各地)

日光を受ける分量(日本)

雨量(朝鮮)

風力と其名稱

風速(東京)

氣溫(日本の平均)

氣溫(日本の最低最高)

氣溫と雨量(日本主要地)

氣溫と雨量(列國都市)

氣壓(日本)

氣壓と風速度(日本主要地)

氣象(臺灣)

氣象(朝鮮)

氣象(滿洲)

大正三年略曆

大正三年に於ける天界豫定の現象

人口

日本人の渡米及歸國數

北海道移住者地方別

北海道移住者の移動

北海道移住者職業別

北海道土人の人口

本邦在留外國人

海外移住本邦人の大勢

海外在留本邦人

加洲本邦人の農業

加洲本邦人の商業

臺灣蕃族の現在種族

臺灣人の出產死亡及婚姻等

臺灣隘勇線内收容の蕃人數

結婚と離婚(日本人)

結婚と離婚(臺灣人)

結婚と年齡(日本人)

結婚率(世界十二大國)

伯爾西爾移民會社

公私生兒と男女別(日本)

戶數(關東州)

戶數(滿洲鐵道附屬地)

戶數の増加(日本)

在外日本人數(布哇)

在外日本人數(米國央部)

在外日本人數(米國央部)

在外日本人數(米國央部)

在外日本人數(米國央部)

一六六

三四二

三四二

三四二

三四二

三四二

五三

一六六

五二

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

一六七

在外日本人數(米國加洲)

在外日本人數(米國華洲)

在外日本人數(滿洲主要地)

在外日本人數(南滿洲各領事館管内)

在外日本人數(關東州及鐵道附屬地)

在米日本人労働者の減少

在米日本人の發展

在米日本人の人口及分布

在米同胞慰問報告(添田博士)

死亡率(列國)

死亡率と男女年齡

死亡率と職業

死亡數(臺灣人)

出生率(列國)

自殺者因由年齡及男女別

人口(日本)

人口(樺太)

人口(臺灣)

人口(關東州)

人口(滿洲)

人口(朝鮮)

人口(滿洲鐵道附屬地)

人口(東京市)

人口(旅順大連金州三市街)

人口(列國)

人口(帝國十大都市)

一六六

一六七

三八〇

三七九

三八〇

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

一六六

人口(世界大都市)	五一	農產物(樺太)	三九六	全米穀大會	二三三
人口(歐洲諸國宗旨別)	四五四	農產物(臺灣)	三七一	園藝牧畜	
人口(世界宗旨別)	四五四	農產物(關東州)	三八一	盆栽會	五四二
人口(世界人種別)	四九	農產物(滿洲)	三八二	大日本園藝會	五四一
人口(日本)	四八	農產物產額(朝鮮)	三四九	ダリヤの發達	五四〇
人口(年齡(四國))	四八	農產物輸移出額(朝鮮)	三四九	國民園藝協會	五四一
人口の膨脹(日本)	五四	滿洲の總產額	二三五	滿洲の園藝事業	三八三
人口の密度(日本)	五七	小麥產出高(列國)	二三二	朝顔の會	五四二
人口調査の必要(東京市)	四〇五	耕地整理の成績	二二九	山草會	五四二
人口増殖率(日本)	五五	米、麥、大豆、甘藷、馬鈴薯、甘蔗、葉煙草	二二九	菊の會	五四二
人口増殖率(世界)	五五	作付反別及收穫高	二三九	畜產及屠畜	
人口百年間の増加(列國)	四九	米麥の產額と市價の變遷	二三二	日本人の食ふ牛豚數	二四〇
日本人の身長	六二	米麥の產額と收穫(臺灣)	二二九	日本の牛馬及豚	二四〇
人間の平均年齡	六〇	米作付甲別と收穫(臺灣)	三七一	日本の羊及鶏	二四一
滿年求月表	六七二	帝國農會	五四一	東京市の獸畜屠場	四二六
年數早見表	六七二	帝國農會第四回大會	二二九	臺灣の畜產數	三七三
農業	六七一	砂糖產額(日本)	二二九	滿洲の家畜數	三八四
藥煙草產額	二三八	砂糖產額(臺灣)	二二九	林業	
人蔘產額(朝鮮)	三五〇	生糸產額(世界)	二二九	豆滿江流材森林面積及材積	三五四
甘藷及馬鈴薯收穫高	二三八	近年の米價と其前途(上原豐吉氏)	二二九	著名の森林と有用材	二四三
大日本農會	五四一	棉花產額(米國)	二六〇	鴨綠江伐木及流材	三五四
大日本農會大會	二二九	棉花消費(世界)	二六〇	鴨綠江の森林	三八五
臺灣の農業者及耕地	二二四	收蘭高(日本)	二三四	鴨綠江の森林利用率	三五三
大正三年の麥作	三七一	製茶產額(日本)	二二六	樺太の林產物	三九六
第四十一回農產品評會	二二二	製茶產額(臺灣)	三七二		

大日本山林會	五四一
大日本山林會總會	二四三
臺灣の森林及收入	三七四
内地の森林伐採額	二四五
内地の森林の植栽額	二四四
滿洲の林業	三八五
御料林野	二四二
公私社寺有林野	二四二
國有林野	二四二
國有林野經費	二四四
國有林野收入	二四三
朝鮮の林野面積	三五二
朝鮮の國費植林額	三五四
朝鮮の木材の販賣價額	三五四
朝鮮の製材額	三五四
樟腦產額(臺灣)	三七三
重要林產物	二四四

水産業

日本の重要水產物	二五一
日本の重要水產物と產地	二五二
大日本水產會	五四一
大日本水產會第四回總會	二五一
臺灣の水產業者と漁業高	三七四
内地の重要水產製品	二五二
漁業船舶數(日本)	二五一
關東州の鹽田	三八五

鑛業

鹽價低減の實行	五四一
朝鮮の鑛業產額	二四三
重要水產製品(内地)	三七四
製鹽產額(内地)	二四五
製鹽產額(臺灣)	二四四
製鹽產額(朝鮮)	三八五
水產物(樺太)	二四二
水產物(關東州)	二四二
日本の重要鑛產物產出高	二四四
日本の重要鑛產業者と產額	二四三
米國の石油產額	三五二
銅の主要產地	三五四
樺太炭鑛の拂下	三五四
臺灣の重要鑛產物	三五四
列國別金銀產額	三七三
内地鑛山の就業者數	二四四
撫順炭賣炭高	二四四
撫順炭出炭高	二四四
鑛產物(樺太)	二五一
鑛產物(朝鮮)	二五二
鐵の主要產地	五四一
安賀母尼の產地	二五一
金の主產地	三七四
銀の主產地	二五二
夕張炭山の爆發	二五一
硫黃の主要產地	三八五

製造業及賃銀

世界の鑛產額	二五三
世界の金銀產額	三五五
世界の石炭產額	二五二
石炭の產地	二五二
石油の主要地	三七五
發明特許	三五五
萬國紡績聯合會	三九六
紡績產額(世界)	三八五
茶業組合三十年記念大會	二四五
重要織物品の產地	二四七
重要製造品額(日本)	二四六
重要水產製品(内地)	二四七
織物產額	二四九
大阪市內諸職業平均賃金	二四七
第六回全國酒造家大會	三九〇
大日本蠶糸會總會	三九〇
會社數及資本金額	三九六
滿洲の工業	三五五
工場及職工人數(日本)	二四六
阿片業(臺灣)	二四六
在朝鮮内地人經營工場	二四六
在朝鮮内地人酒類及醬油釀造高	二四六
砂糖產額(日本)	二四七
砂糖產額(臺灣)	二四七
砂糖產額(世界)	二四六
世界の鑛產額	二四八
世界の金銀產額	二四九
世界の石炭產額	二四八
石炭の產地	二四六
石油の主要地	二四六
發明特許	二五七
萬國紡績聯合會	二五八
紡績產額(世界)	二五八
茶業組合三十年記念大會	二五九
重要織物品の產地	二五九
重要製造品額(日本)	二五七
重要水產製品(内地)	二五九
織物產額	二五九
大阪市內諸職業平均賃金	二六一
第六回全國酒造家大會	二六四
大日本蠶糸會總會	二五三
會社數及資本金額	二五三
滿洲の工業	二五五
工場及職工人數(日本)	二五四
阿片業(臺灣)	二五三
在朝鮮内地人經營工場	二五三
在朝鮮内地人酒類及醬油釀造高	二五三
砂糖產額(日本)	二五三
砂糖產額(臺灣)	二五三
砂糖產額(世界)	二五三

生糸產高(世界)
 綿糸紡績產額(日本)
 酒類醬油產額
 肥料製造販賣價額
 製茶產額(日本)
 製茶產額(臺灣)
 全國酒醬油業者大會

二三四
 二五七
 二六一
 二三九
 二三六
 三七二
 二六一

外國貿易

外國貿易額(日本)
 外國貿易額(樺太)
 外國貿易(臺灣)
 外國貿易(關東州)
 外國貿易(朝鮮)
 茶輸出高及消費高(世界)
 關稅收入額(臺灣)
 滿洲輸出入大豆及其製品仕向地別
 港外輸出品價額
 港外輸出品價額
 咖啡輸出高及消費高(世界)
 ココア輸出入高及消費高(世界)
 國外輸出入額(日本)
 朝鮮の農產物輸出入額
 生糸貿易の現在及將來(紫藤章氏)
 生糸輸出國別表
 金在高と貿易(世界)

二六八
 三九八
 三七六
 三八五
 三五七
 二三六
 三七六
 三八三
 二七〇
 二六九
 二三六
 二三七
 二七〇
 三四九
 二三三
 二三三
 二七二

商業及相場

金銀輸出入額(日本)
 重要貿易品價額(輸入、日本)
 重要貿易品價額(輸出、日本)
 重要貿易品價額(北海道)
 重要貿易品價額(臺灣)
 重要貿易品價額(關東州)
 重要貿易品價額(朝鮮)
 千萬圓以上の取引ある貿易港名及重要貿易品

二七一
 二六九
 二六八
 三四五
 三七五
 三八六
 三五七
 二七〇

日用生活材料市價の變化
 米麥の產額と其相場
 米麥の產額と市價の變遷
 取引所(東京)
 取引所(大阪)
 取引所法改正の眼目(小池國三氏)
 取引所聯合會
 取引所の數
 同業組合
 東新直復活問題
 中國興業株式會社
 茶業組合三十年記念大會
 株式市場の過去と將來(神田鑑藏氏)
 第二十回商業會議所聯合會
 會社數及資本金額
 朝鮮に支店設置の會社數

二五五
 二二二
 二二九
 二六七
 二六七
 二六六
 二六六
 二六八
 二六六
 二四一
 二六八
 一五九
 二三八
 二六七
 二五九
 二五三
 三五五

產業 (雜之部)

朝鮮の事業會社數
 生糸市價維持運動
 近年の米價と其前途(上原豐吉氏)
 商業會議所
 商品陳列所
 各國貨幣度量衡對照表

三五五
 二三五
 二三一
 二四一
 二四一
 六五九

電氣事業

日本實業協會創立
 東京府大正博覽會
 富山聯合共進會
 橫濱勸業共進會
 原野と產業
 產業組合
 全國產業組合大會
 發電力
 發電水力調查事業の成績
 東京市有後の電燈
 東京市街鐵の電燈業
 東京市電燈競爭と東電料金
 東京市電氣局の電燈方針
 東京市電車市有及市有後の電車
 東京市の電車
 東京市の電車の改善

二五八
 四四三
 二六五
 三六
 二四一
 二三五
 二六二
 二六三
 四二九
 四二九
 四二九
 四二九
 四二八
 四三〇
 四二七
 四二六
 四二七

東京市の電車の合併	四二七
東京市の電車の沿革	四二六
東京市の電車の収入變更	四二八
兩電燈會社合併問題 (東京市)	二六三
大阪市の電燈買收問題	二六三
各水系と其理論發電馬力數	二六三
電燈 (東京市)	四二八
電燈の電力需用數	二六二
電燈の起源 (東京市)	四二八
電氣機關車	二七九
電氣事業 (滿鐵)	三九〇
電氣事業の發達	二六一
電氣事業資本	二六二
電氣事業數	二六二
電車數	二八三
瓦斯事業	
日本の瓦斯燈數	二六四
日本の瓦斯事業の發達	二六四
東京瓦斯會社の起源	四三一
東京市の瓦斯	四三一
東京市内瓦斯料金の變更	四三一
東京市内瓦斯競爭	四三二
東京市内瓦斯事業の發達	四三二
東京市内瓦斯的沿革	四三一
滿鐵の瓦斯營業成績	三八九

交通運輸 (陸上之部)

馬車鐵道 (東京市)	四二六
荷馬車の數	二八三
日本橋より廳府縣元標に至る里程	二九二
日滿日歐間旅客聯絡運輸	二八二
日滿日歐間貨物聯絡運輸	二八三
日滿日歐間運輸聯絡	二八一
北海道鐵道の樁事	二九五
道路の沿革及現狀	四一七
道路の種別及面積	四一七
道路の延長 (各府縣)	二九二
中央大停車場	二七九
奥羽線列車樁事	二九五
樺太の陸上交通	三九五
各國の列車速力	二八一
臺灣の鐵道事業	三七六
列國鐵道線路	二八〇
列車の正面衝突	二八一
乘合馬車の數	二八三
橋梁	四一八
京城と日支要地距離	三五八
國有鐵道豫定線路	二七八
國有鐵道の過去現在及將來 (鐵道院副總裁野村龍太郎)	
國有鐵道の營業收入支出及益金	二七二
國有鐵道の未開通路	二七六
國有鐵道の資本線路車輛走行哩	二七五
國有鐵道の事故及死傷	二七八
國有鐵道の乘客數及貨物噸數	二七六
鐵道院の財政	
鐵道院の整理	二七四
鐵道短期外債募集	二九四
鐵道增運賃新定	二七一
朝鮮鐵道營業成績	二七五
朝鮮鐵道線路哩程	三五九
電氣機關車	三九〇
電車 (東京市)	
電車の改善 (東京市)	四二六
電車の合併 (東京市)	四二七
電車の沿革 (東京市)	四二七
電車數	四二六
電車市有及市有後の電車 (東京市)	二八三
電車收入の變更 (東京市)	四二七
牛車の數	四二八
未曾有の汽車衝突	二八三
南滿洲鐵道の運輸成績	二九四
南滿洲鐵道の營業總收入金額	三八八
南滿洲鐵道の新株募集	三八八
私有鐵道の發達	三八八
自働車	
自働車取締規則	二七八
自働車運轉手	五六一
自働車事故	五六一
自轉車の數	五六一

二八三、

人力車の數
人車鐵道の數

水運

巴奈馬運河

巴奈馬運河の防備

巴奈馬運河の設計

巴奈馬運河工事の現況及見込

巴奈馬運河工事費豫算

巴奈馬運河工事進捗の程度

巴奈馬運河事件

日本海員接濟會

補助航路

補助航路の現狀

補助航路費額(日本)

補助航路費額(列國)

東京築港

東京築港の新計畫

東京築港沿革

海員數(日本)

海運業(樺太)

海運業(臺灣)

海港檢疫

開港場(日本)

橫濱と巴奈馬運河

橫濱より世界各港への距離

二八三
二八三

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

二八四

大連埠頭貨物取扱
遭難船及遭難者數(日本)

造船獎勵に依る造船數

關釜連絡船の成績

航路別船舶(日本登録船數)

航路標識種類別

航海獎勵法に依る船舶數

漁業船舶數(日本)

南滿洲鐵道株式會社の上海航路

自働船

船舶現在數(日本)

船舶現在數(朝鮮)

船舶現在數及總噸數(列國)

船主同盟會大會

郵便電信電話の發達

日本及列國の電信局取扱數

日本の郵便局所數

日本の通信事業收支

日本の無線電話

日本の無線電信局

日本の電報發信取扱數

日本の電話加入者及通話度數

日本の電話線及電話機數

日本の電信線路及線條

海外電報の改正

三九一
二八八

二九一

三六〇

二八六

二九一

二九〇

二五一

三九一

五六一

二八五

三六〇

二八七

二九一

二九七

三〇二

二九九

二九七

三〇六

三〇三

三〇一

三〇四

三〇四

三〇一

三〇二

列國の郵便物取扱數
列國の電話局所及電話取扱數

連達郵便の成績

通信事業收入

内地郵便局の内地郵便物引受數

内地郵便局の外國郵便物引受數

內國郵便規則拔率

內國電信規則拔率

世界大都會の電話架設數

郵便振替貯金取扱數

郵便貯金と貯蓄預金(日本)

郵便貯金と職業別(日本)

郵便貯金狀況比較(列國)

郵便貯金及郵便振替貯金規則拔率

郵便爲替取扱數

倫敦銀塊相場

日本銀行の貸付並預金高

日本銀行の兌換券發行高

日英銀行の解散

北部銀行團成立

特殊銀行數と資本

東洋拓殖會社外債成立

東京の金利表

東京銀行集會所二度の出火

三〇〇
三〇四

二九八

二九七

二九九

三〇〇

六四三

六五五

三〇五

三〇八

三〇六

三〇七

三〇七

六五一

三〇六

二五一

二一九

二二〇

二二二

二二〇

二二〇

二二〇

二二〇

二二〇

二二〇

貯蓄銀行預金及貸付高
貯蓄銀行數と資本
利子早見表

大阪の金利表

外資輸入高現在

各銀行資本金預金及貸出金(朝鮮)

各銀行種別數(朝鮮)

各種銀行の收支

貸金業者貸金高(滿洲)

橫濱正金銀行の貸付並預金高

橫濱正金銀行の金券發行

橫濱正金銀行支店貸付金(滿洲)

預金者數及預金高(列國)

第一銀行の増資

第二十三回農工銀行大會

第十五回關西銀行大會

第十五銀行の増資

單利積算表

通貨流通高(日本)

通貨流通高(朝鮮)

年利日歩換算表

年金恩給拂渡高種別

內國郵便爲替規則拔奉

普通銀行預金及貸付高

複利積算表

二一九 二一八 六四一 二二二 二二三 三六一 三六一 二二〇 三九四 二一九 二〇八 三九三 三九一 二二一 二一六 二一八 二二二 二一六 六三九 二一五 三六一 六四〇 三〇八 六四九 二一九 二一七 六四〇

興業銀行の整理

興業銀行總裁添田壽一氏辭任

公債株式利廻一覽表

國庫所屬特別資金及資本現在高一覽

丁酉銀行の増資

手形交換高(日本)

手形交換高(朝鮮)

手形交換高(倫敦)

手形交換高(紐育)

朝鮮銀行預金貸出金

金融の過去と將來(園田孝吉氏)

銀銅の最近十年間價格(日本)

銀行會社の新設擴張資本

銀行俱樂部第百回晚餐會

銀行數と資本額

金在高と貿易(世界)

金銀貨幣鑄造高(列國)

實屋貸出高(滿洲)

全國金利高低表

勸業債券貯蓄債券抽籤期月及記號別

保險

保險會社數と契約高

米國の火災被害と保險

米國の生命保險成績

慈善救恤

日本海員救濟會

日本救世軍

日本赤十字社

日本赤十字社社員

東京育成園

東京市養育院

東京慈惠會醫院

東京職業紹介所

家庭學校

感化救濟事業

癩病療養所

無料宿泊所

福田會

帝國水難救濟會

恩賜財團濟生會

恩賜財團濟生會役員

恩賜財團濟生會診療所

三井慈善病院

施療病院

全國慈善團體

天變地災

生駒山墜道の椿事

日暮里の大火

北海道鐵道の椿事

三三四、

三三五 三三七 三三二 三三三 三三七 三三六 三三六 三三七 三三八 四三三 三三九 三三八 三三七 三三五 三三三 三三四 三三四 四二五 三二七 三三〇 二八一 四一九 二九五

東京の大洪水

東京銀行集會所二度の出火

奥羽線列車の棒事

各地方の火災(大正元年十月より大正

二年十一月まで)

神田の大火

列車の正面衝突

最近一年間に於ける天變地災

京都理工科大学の火災

夕張炭山の爆發

未曾有の汽車衝突

修學旅行の奇禍

衛生

醫師出身別

醫師其他(東京市)

日本赤十字社

東京慈惠會醫院

東京市衛生試驗所

汚物掃除(東京市)

街路撒水(東京市)

街頭便所(東京市)

海港檢疫

河川掃除(東京市)

癩病

癩病療養所

隔離病院(東京市)

藥劑師出身別

下水道

下水道(東京市)

下水道の設計(東京市)

下水道經費及財源(東京市)

下水史(東京市)

下水浸漬(東京市)

虎列拉保衛者(東京市)

衛生(東京市)

傳染病豫防法(東京市)

傳染病患者及死亡者季節別

最近六ヶ年間の傳染病患者(東京市)

最近の衛生狀態

(内務省衛生局長杉山四五郎氏)

最近の水道狀態(同上杉山四五郎氏)

濟生會診療所

產婆出身別

齒科醫師出身別

水道

水道(東京市)

上水道の擴張(東京市)

上水道敷設若くは改良前後に於ける

三傳染病患者數比較

上水道最大給水量及一人當使用水量

(東京市)

上水道給水現況(東京市)

上水道史(東京市)

消毒機關(東京市)

塵埃搬入禁止(東京市)

病院

病院(東京市)

精神病者

施療病院

教育

博士數

博士數(大正改元後學位を授けられたる)

博士數(大正改元後死亡したる)

博士論文

二部用讀本編纂決定

東北大學の女子問題

桐花會

東京雙曜學校

東京盲學校

特殊夜學校(東京市立)

特殊小學校(東京市)

圖書出版數

地方教育費の整理

中學校教員生徒卒業者累年比較

中學教員資格一覽

學齡兒童(東京市)

學齡兒童數及兒童就學歩合累年比較

學校教員生徒(樺太)

四二四

四二六

三二七

四二三

三三九

三二七

四五七

四五七

四五七

四五八

四七九

四八一

四七九

四七五

四七五

四三八

四三八

四四〇

四四六

四七四

四七〇

四三五

四七一

三九九

學校教員生徒(臺灣) 三七〇
 學校教員生徒(滿洲) 三八七
 學校教員數(東京市) 四三五
 學校運動續發 四七七
 學習院學則改正 四七七
 學習院長大迫尙敏子就任 四七七
 第一高等學校長的更迭 三七九
 體育專門學校 四六二
 臺灣蕃族教育事業 三六八
 大學院在學人員 四六〇
 大學教授內職問題 四八一
 增設學校數及建築費(東京市) 四六五
 無試驗檢定學校 四七〇
 繪圖專門學校 四六二
 官立專門學校教職員生徒入學者卒業等 四六一
 官私立幼稚園一覽 四七二
 官私立小學校教職員兒童累年比較 四七一
 留學專門學校 四六二
 高等中學校令實施延期 四七八
 高等學校教員生徒經費等 四六一
 高等師範廢止問題 四七八
 高等師範廢止問題の真相 四八〇
 高等師範學校臨時教員養成所 四八九
 高等女學校 四七四
 高等女學校教員資格一覽 四七〇
 高等商業學校改革問題 四八一
 國定教科書の改訂 四七六

公學費 三七〇
 公學費累年比較(府縣郡市町村) 四七六
 公私立醫學專門學校 四六二
 帝國學士院授與式 四八〇
 帝國學士院授賞決定 四七九
 帝國大學一覽 四七九
 帝國大學總長の更迭 四七九
 朝鮮の内地人學校 四七九
 朝鮮人教育の學校別 四七九
 朝鮮人教員の學校別 四七九
 朝鮮人教育の實業學校數 四七九
 教育(東京市) 四七九
 教育勅語 四七九
 教育の現狀(東京市) 四七九
 教育の沿革(東京市) 四七九
 教育功績者の選奨 四七九
 教育調査會委員任命 四七九
 教育調査會 四七九
 教育調査會の役員 四七九
 教育調査機關設置の圖 四七九
 教育基金使途改正案 四七九
 教員檢定試驗 四七九
 教育資金 四七九
 教科用圖書調查委員會 四七九
 京都理工科大學の火災 四七九
 京都帝大教授の淘汰 四七九
 明治專門學校(恩賜) 四七九

若溪會の活動 四七六
 若溪會の基金募集 四七六
 メービー博士來朝 四八〇
 師範學校教員生徒累年比較 四七九
 師範學校教員資格一覽 四七九
 私立各種學校(東京市) 四七九
 私立大學 四七九
 實科高等女學校 四七九
 實科高等女學校(東京市立) 四七九
 實業補習學校 四七九
 實業補習教育案 四七九
 實業補習夜學校(東京市立) 四七九
 實業補習夜學校(東京市の私立) 四七九
 實業學校 四七九
 實業教員の選奨 四七九
 實業教員養成所 四七九
 實業專門學校 四七九
 小學校長叙勳 四七九
 小學校令の改正 四七九
 小學校教員の肺結核 四七九
 小學校教員月俸額一覽(市町立) 四七九
 小學校建設資金比較(東京市立) 四七九
 小學教育(滿鐵) 四七九
 試驗制度改正 四七九
 修學旅行の奇禍 四七九
 宗教專門學校 四七九
 盲啞學校 四七九

四七九
 四八〇
 四七七
 四六九
 四七〇
 四三九
 四六二
 四七四
 四三七
 四六八
 四七八
 四三七
 四三八
 四六八
 四七七
 四六七
 四六七
 四八〇
 四八〇
 四七七
 三七二
 四三四
 三八八
 四七八
 四三九
 四六二
 四七五

育曜學校(公私立)
廣島高等師範學校長後任

四七五
四七九

圖書館

圖書館(日本)

五三八

圖書館(東京市立)

四三六

圖書館(各國)

五四〇

南葵文庫

五三九

帝國圖書館

五三八

帝國圖書館藏書部數

五三八

帝國圖書館閱覽人員及貸附圖書冊數

五三八

日比谷圖書館

五三九

日比谷圖書館藏書冊數

五三九

日比谷圖書館閱覽人員及貸附圖書數

五三九

新聞雜誌 (及通信)

東京の日刊新聞

五二九

東京の重なる雜誌

五三三

東京の通信社

五三七

歐米の重なる新聞

五三五

大阪の日刊新聞

五二九

國際新聞協會

五三八

春秋會

五三八

新領土及移民地の日刊新聞

五三四

運動體育

磯五世の祝典

五六〇

日本オリンピック競技會
東洋オリンピック大會
陸上運動界
華盛頓大學野球選手來襲
早稻田大學の野球大立者
學生角力界
各學校の新艇
第一高等學校の新道場
大日本體育協會
打球界
端艇界
端艇競漕成績(隅田川)
端艇競漕成績(琵琶湖)
野球界
野球大試合(春期)
野球大試合(秋期)
慶應大學の野球大立者
擊劍界
擊劍有級者
駒場の農科大學運動會
庭球界
弓術界
明治大學野球大立者
明治大學野球團馬尼刺行
柔道界
柔道有段者
柔道家の協議

五五六
五五八
五五五
五五一
五六一
五五五
五六〇
五五六
五五四
五五四
五五四
五五五
五五〇
五五一
五五一
五五九
五五九
五五八
五五二
五六〇
五五一
五五〇
五五九
五五九
五六〇

宗教

大廟及重なる官幣社

四四六

佛教各派

四五〇

佛教各宗本山

四五一

佛教各宗勢力

四五一

佛教宗派別寺院

四五一

佛教宗派別住職數

四五一

基督教各派傳道費

四五一

基督教宗派別教會宣教師等

四五一

宗教界(臺灣)

四二二

宗教界(朝鮮)

三七〇

宗教界(滿洲)

三六四

宗教局の所管換

三八七

宗旨別人口(歐洲)

四四三

宗旨別人口(世界)

四四四

神道各派

四五〇

神職

四五〇

神社

四五〇

文部大臣の宗教家招待

四五〇

司法及警察

四四六、
四四三、
四八〇

六十萬圓橫領者の轢死

辯護士會長

辯護士人員

特別法犯被告人及判決數

鬼武東腹目す

外國人の新受刑者

大審院重要職員

騷擾事件判決

刑法犯判決數

刑法犯罪名別人員

刑法被告人

刑の執行猶豫及其取消

警視廳の犯罪搜查

警視廳管内の放火事件數

警視廳管内の横領事件數

警視廳管内の強盜事件數

警視廳管内の殺人事件數

警視廳管内の詐偽恐喝事件數

警視廳管内の諸法令違反及刑法犯事件數

警視廳管内の窃盜事件數

警視廳管内の拘摸件數

刑事々件受理數

古着屋殺し捕はる

黑手黨の出現

控訴院長

公證人の數及事務件數

淺草の三人殺

四四二

三一五

三一五

三二四

四四二

三三二

三〇九

四四二

三二五

三二五

三二五

三二五

四三九

四四〇

四四一

四四〇

四四〇

四三九

四四一

四四一

四四一

四四一

四四一

四四一

四四二

三〇九

三一九

四四二

裁判所管轄區域

在監人員

在監人の作業種類

奇々怪々の電殺事件

民事に關する訴訟非訟事件數

芝五人殺人捕はる

執達吏の數及事務件數

自殺者因由年齡及男女別

新受刑者の犯人別

新受刑者の年齡

新受刑者の刑名刑期

寔兒

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

三二五

軍事

巴奈馬に於ける觀兵式と觀艦式

弩級型前後の海軍比較(列強)

陸海軍に賜はれる勅語

陸海軍人訓誡の勅諭

陸軍力(日本)

陸軍力(列強)

陸軍大演習一覽

陸軍大演習臨幸

陸軍管區表

陸軍兵器の進歩(騎銃、機關銃、野砲、重砲、山砲、小銃)

陸軍雜事(大正二年)

陸軍省の行政整理

三〇九

三二〇

三二一

四四二

三二六

四四三

三二九

三二九

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

三二二

陸軍常備團隊配備表

臨時軍用氣球研究會

海軍力(日本)

海軍力の現狀(列強)

海軍力の比較(列強)

海軍大演習

海軍兵器の進歩(砲種、艦船主機關、魚雷、タービン式機關、主油機關、瓦斯機關)

海軍高等武官准士官服役令

海軍雜事

海軍省の行政整理

觀艦式

觀艦式臨幸

列強海軍完成艦艇

列強軍備擴張

造艦計畫

增師問題の真相

造船景況

艦隊の編成

艦隊根據地及所轄地域

軍艦出雲墨國派遣

軍務各廳長官

軍事參議院

建造並に計畫中の列強艦艇

元帥府

五大陸軍國の常備兵力

五大陸軍國の人口と陸軍力並に陸軍費比較

一七八

一九五

一八七

一九二

一九四

一九五

一九一

一九二

一九五

二〇六

一九五

一九五

一九三

五六四

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一

一九一